

1 策定

・令和3年7月1日「びわ湖の日」40周年の日に、マザーレイクゴールズ (MLGs) への賛同者を集めて「マザーレイクゴールズ賛同者会議」を開催した。(6月末時点の賛同者：670者※個人、団体含む)
 ・賛同者会議の場で、マザーレイクゴールズ (MLGs) アジェンダ (案) および推進体制のメンバー、今年度の事業計画が承認され、マザーレイクゴールズ (MLGs) の取組が正式に開始した。

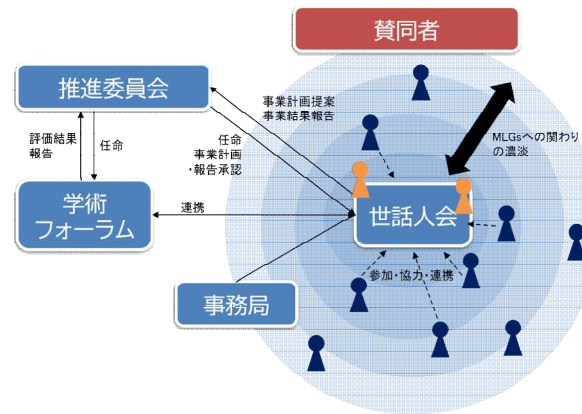
2 マザーレイクゴールズ(MLGs)の13のゴール



- Goal 1**
清らかさを感じる水に
- Goal 2**
豊かな魚介類を取り戻そう
- Goal 3**
多様な生き物を守ろう
- Goal 4**
水辺も湖底も美しく
- Goal 5**
恵み豊かな水源の森を守ろう
- Goal 6**
森川里湖海のつながりを健全に
- Goal 7**
びわ湖のためにも温室効果ガスの排出を減らそう
- Goal 8**
気候変動や自然災害に強い暮らしに
- Goal 9**
生業・産業に地域の資源を活かそう
- Goal 10**
地元も流域も学びの場に
- Goal 11**
びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう
- Goal 12**
水とつながる祈りと暮らしを次世代に
- Goal 13**
つながりあって目標を達成しよう

3 推進体制

・推進体制の運営は、当面の間、県が担うこととし、「マザーレイクゴールズ推進委員会」を設置した。
 ・マザーレイクゴールズ推進委員会は、地域での活動促進や団体間をつなぐ役割を担う「世話人」および学術的知見に基づき琵琶湖や指標の状態をチェックする「学術委員」を任命し、それぞれから成る「世話人会」、「学術フォーラム」を設置することとした。
 ・なお、マザーレイクゴールズ推進委員会は、審議・重要事項にかかる意思決定機関であり、世話人会は、ワークショップ等の事業の企画・実施をするための執行機関と位置づけている。



マザーレイクゴールズ推進委員

- | | |
|-------|-------------------|
| 石河 康久 | 滋賀県琵琶湖環境部長 ※ |
| 中野 伸一 | 京大大学生態学研究センター長 |
| 井手 慎司 | 滋賀県立大学環境科学部教授 |
| 上田 洋平 | 滋賀県立大学地域共生センター講師 |
| 西村 亜智 | 株式会社日吉 総務部総務課 |
| 辻 博子 | しがローカルSDGs研究会事務局長 |
| 川本 勇 | 株式会社ユーストン代表取締役 |

※推進委員会委員長

マザーレイクゴールズ世話人

- | | |
|-------|--------------------|
| 村上 悟 | 特定非営利活動法人碧いびわ湖代表理事 |
| 上田 隼也 | 一般社団法人インパクトラボ代表理事 |
| 吉武 莞 | 一般社団法人インパクトラボ理事 |
| 溝江 愛未 | エイムアイ・クリエイティブオフィス |
| 佐藤 祐一 | 琵琶湖環境科学センター専門研究員 |
| 三和 伸彦 | 滋賀県琵琶湖環境部技監 (事務局長) |

4 MLGs推進のための事業

今後、琵琶湖の魅力・課題について話し合い、参加者がMLGsへのコミット (びわ湖との約束) を表明するワークショップを積極的かつ柔軟に開催するとともに、学生ライターを起用してMLGsの達成に資する多様な主体の活動に関する記事等をまとめたニュースサイトを運営するなど、MLGs推進のための事業を進めていく。

ニュースサイトの運営



<https://mlgs.shiga.jp/>

ワークショップの開催

